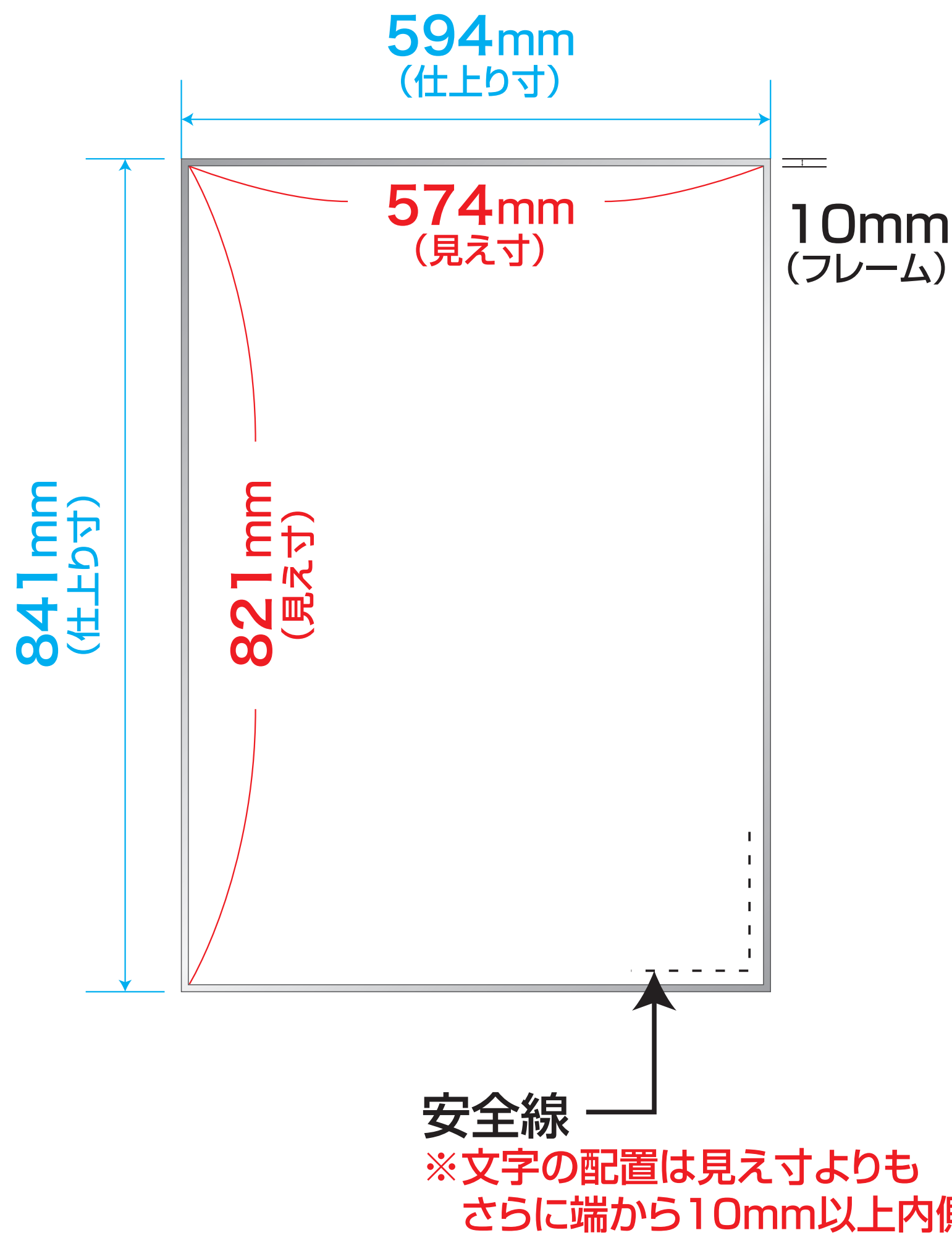
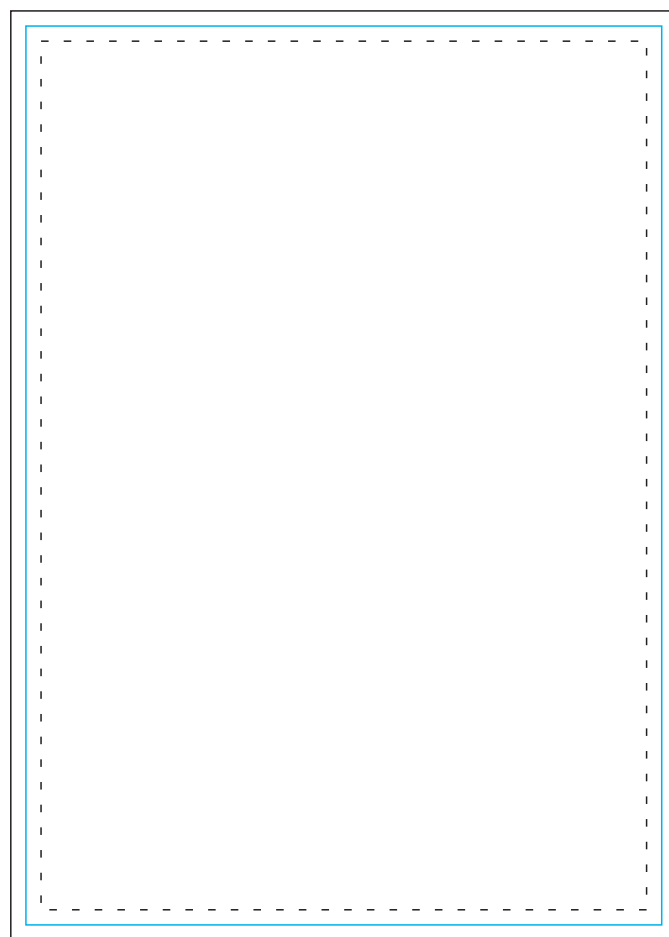


(例)参考
A1サイズ (W594×H841mm)

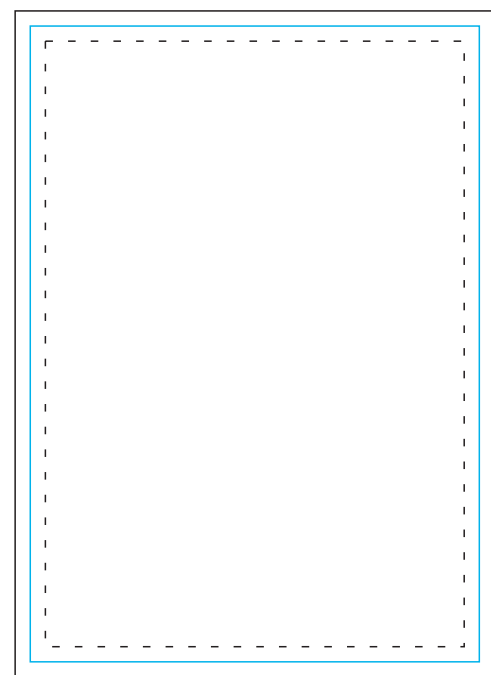


タテ型

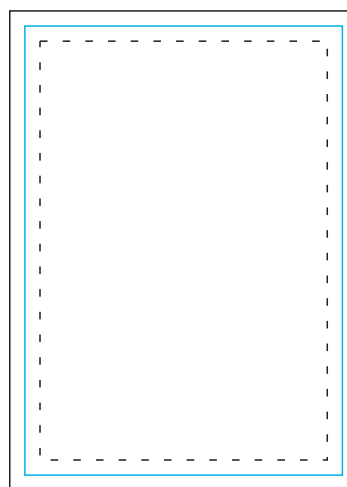
A0
(841×1189mm)



A1
(594×841mm)



A2
(420×594mm)



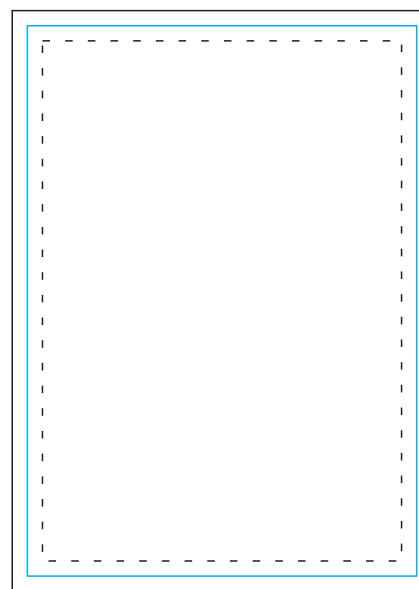
B0
(1030×1456mm)



B1
(728×1030mm)

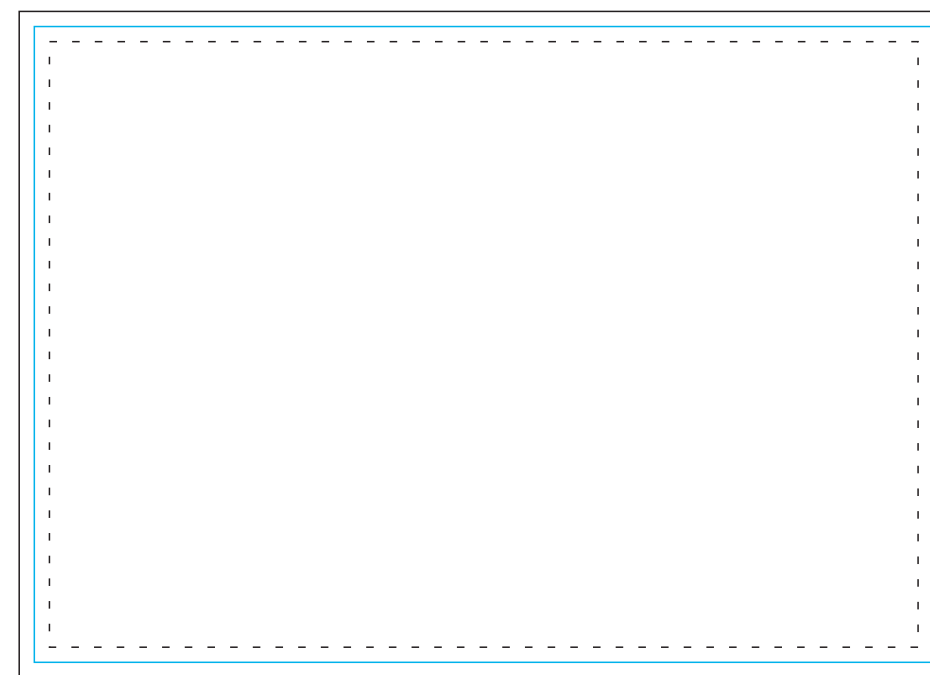


B2
(515×728mm)

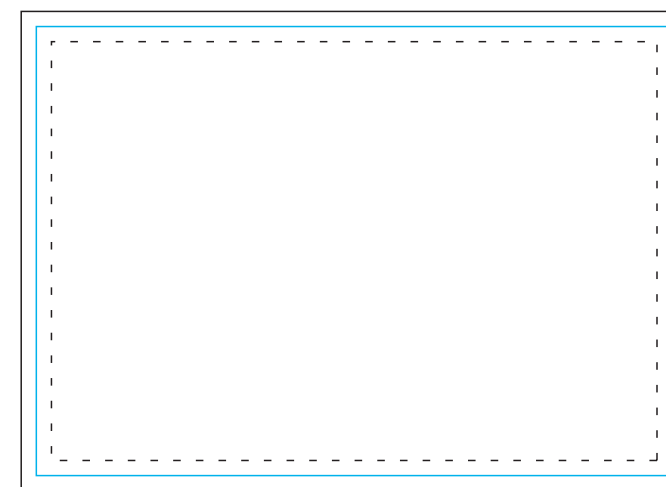


ヨコ型

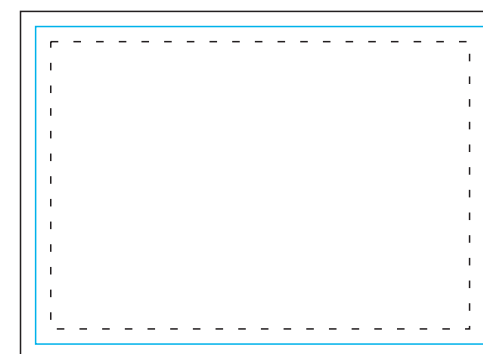
A0
(841×1189mm)



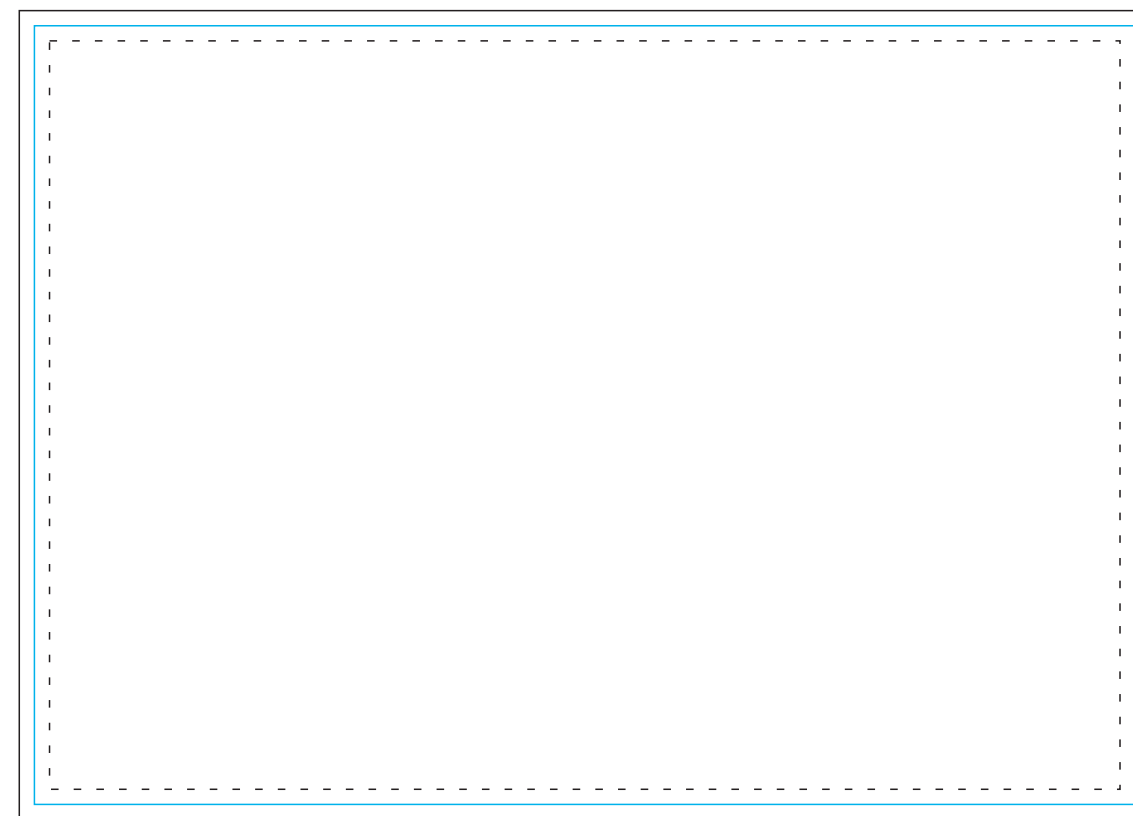
A1
(594×841mm)



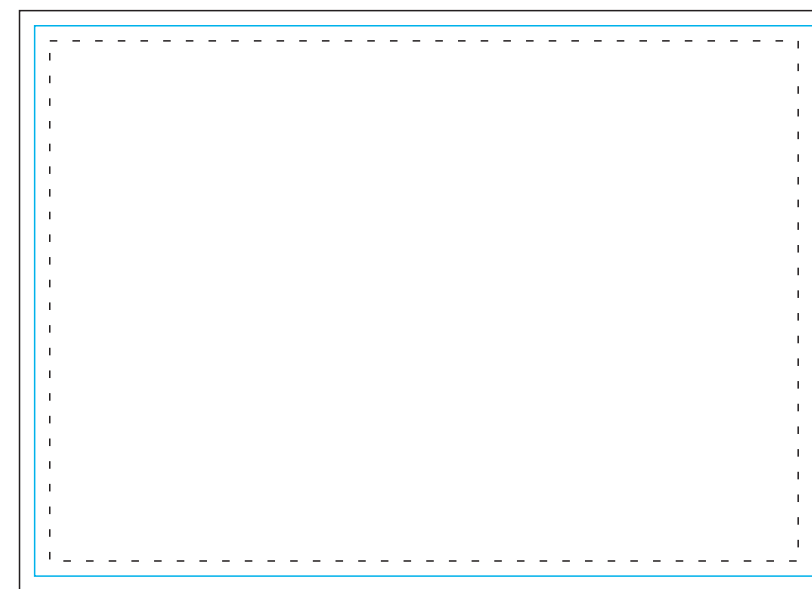
A2
(420×594mm)



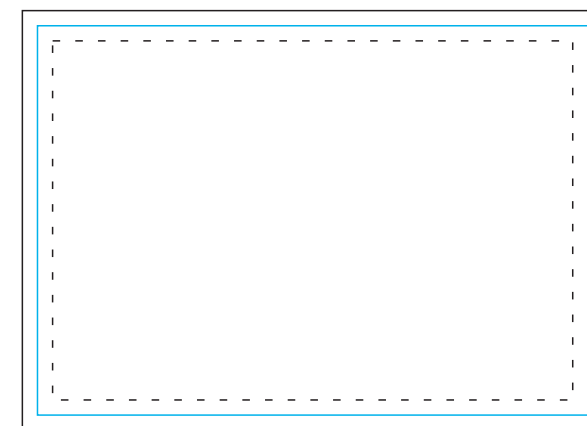
B0
(1030×1456mm)



B1
(728×1030mm)



B2
(515×728mm)



- 水色線…仕上り寸
- 黒線…塗足し線
- 点線…安全線（※文字の配置は点線まで）

【 ご使用方法 】

- ①作成したデータを「Customer_data」レイヤーに貼付け
※[template]レイヤーの変更・消去は絶対にしないでください
- ②【チェックシート】を確認し、別名保存(形式: Ai)
※別名保存の際、必ず「PDF互換ファイルを作成」と「ICCプロファイルを埋め込む」のチェックを外して保存をお願いします
- ③Aiデータ、画像データ、確認用データ (Aiデータのキャプチャ画像) を1つのフォルダに入れて圧縮→メールにて送付

【 チェックシート 】

- ☐ カラーモードはCMYKですか？
メニューバーの「ファイル」→「ドキュメントのカラーモード」→「CMYKカラー」
- ☐ 塗足し線まで作成されていますか？
背景の写真や絵柄などは、必ず塗足し線までレイアウトしてください。
仕上がりギリギリまたは少し内側にレイアウトされますと、断裁時の誤差などで生地の高部に白地が発生する場合がございます。
- ☐ 画像の解像度は150dpi以上ですか？
画像は実寸で解像度150dpi以上を推奨しております。解像度が低いと粗く出力されます。
画像は埋め込まないでリンク配置し、リンク画像は必ずこのAiデータと一緒に送ってください。
- ☐ 画像の画質は大丈夫ですか？
1/10サイズのフォーマットの場合、画面全下のズームレベルを「1000%」にしますと、実寸に近いサイズで画質確認が可能です。画質がないかご確認ください。
- ☐ 複雑なパス、パターンスウォッチ、ぼかし、ドロップシャドウは画像化されていますか？
※以下①でドキュメントの解像度を上げていただき、②で画像化してください。
(※→直画像化されると元に戻すため、元のAiデータをコピーし作成することを推奨いたします)
①メニューバー「効果」→「ドキュメントのラスターサイズ(効果設定)」→「解像度 その他」から1200ppiで設定
→「背景」は透明を選択→「オプション」のチェックをすべて外す→OK
②複雑なイラスト・図、パターンスウォッチは
該当のオブジェクトを選択→メニューバー「オブジェクト」→「ラスターライズ」
→「解像度 その他」から1200ppiで設定→「解像」は透明を選択
→「オプション」のアンチエイリアスは「アート」に設定を選択、チェックをすべて外す→OK
ほかし、ドロップシャドウは
該当のオブジェクトを選択→メニューバー「オブジェクト」→「アピアランスを分割」
- ☐ オーバープリントになっていませんか？
オーバープリントになっている文字やイラストは印刷時、非表示になり出力されませんのでご注意ください。
- ☐ フォントはアウトライン化していますか？
メニューバー「書式」から「アウトラインを作成」
- ☐ 対応アプリケーション: 2020(v24.0.3)以下で作成していますか？
Illustrator 2020(v24.0.3)以上の最新バージョンにて作成されている方は、バージョンを2020(v24.0.3)またはそれ以下に下げて保存してください。
- ☐ 確認用データはありますか？
リンク画像を効果が表示なく反映されているか確認いたしますのでキャプチャ画像を必ず一緒にご入力ください。